

2019年1月1日から2022年9月30日までに

経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-B t）および経尿道的前立腺 切除術（TUR-P）を受けた方へ

東京都健康長寿医療センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

●研究の名称

泌尿器科患者における術後の膀胱テネスムス症状出現に影響する要因について

●研究の対象

2019年1月1日から2022年9月30日までに東京都健康長寿医療センターで経尿道的膀胱腫瘍切除術および経尿道的前立腺切除術を受けた方

●研究の期間

2021年承認後から2022年12月31日まで

●研究の目的

泌尿器科手術後に膀胱留置カテーテルが挿入されることによって生じる膀胱テネスムス症状の出現に影響する因子を明らかにすることです。

●研究の方法

経尿道的膀胱腫瘍切除術および経尿道的前立腺切除術を行った症例について、過去の看護カルテから必要なデータを収集し分析する後ろ向き研究です。

●研究に使用する試料・情報

使用する試料：電子カルテ記録より、医師記録、看護記録、手術記録を参照します。

使用する情報：性別、年齢、身長、体重、BMI、神経系に関する既往歴の有無、せん妄出現の有無、常用している鎮痛薬の有無、術式、麻酔の種類、麻酔

研究-参考書式2

時間、手術室でのジクロフェナクナトリウム坐剤使用の有無、帰宅後の鎮痛薬使用の有無、膀胱テネズムス症状出現の有無、手術後病棟帰宅時の体温、切除した検体の重さ、挿入したカテーテルの太さと固定水の量

●研究組織

研究責任者

東京都健康長寿医療センター看護部 7西病棟看護師 高木 美那（主任）

研究分担者

東京都健康長寿医療センター看護部 7西病棟看護師 上村 大輔（主任）
川崎 愛莉
小國 拳斗
和田 彩

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身に結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

●お問い合わせ先

研究責任者：東京都健康長寿医療センター

7階西病棟 高木 美那 川崎 愛莉

連絡先：〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

TEL 03-3964-1141 内線 5770

受付時間：平日 9 時から 17 時